

## 南海トラフ地震に対する備えについて

- 8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8月8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。
- 政府は、南海トラフ地震防災対策推進地域に対して、8日の地震発生から1週間、日ごろからの地震への備えの再確認や、揺れを感じたら直ちに避難できる体制をとるよう呼びかけていましたが、地震発生後、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すような地震活動や地殻変動は観測されていないことから、本日17時をもって「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」に伴う特別な呼びかけを終了した上で、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、日頃からの地震への備えについて引き続き実施しながら、通常的生活を行うよう呼びかけました。
- これを受け、県では、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常業務を行うこととします。
- 県民のみなさまにおかれても、地震への備えを維持しながら、通常的生活を行っていただくようお願いします。